

第七十六回
帝國議會
貴族院

民法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

民法中改正法律案(政)

非訟事件手續法中改正法律案(政)

戶籍法中改正法律案(政)

委員氏名

委員長 侯爵前田 利爲君
副委員長 子爵加藤 泰通君

木村 尙達君
村上 恭一君
男爵近藤 滋彌君
男爵奥田 剛郎君
中村純九郎君
山隈 康君
塩田 團平君

昭和十六年一月二十九日(水曜日)午前
時八分開會

○副委員長(子爵加藤泰通君)

只今カラ委員會ヲ開會致シマス、前田委員長ガ御所勞デ本日御缺席ニナリマシタノデ、私代リマシテ委員長ヲ務メマス、一ツ御諮ヲ致シマスガ、此ノ委員會ニ付託サレマシタ民法中改正法律案、戶籍法中改正法律案、非訟事件手續法中改正法律案、此ノ三件ハ比較的ニ餘リ複雑シタモノデアリマセヌノデ、一括シテ議題ニ上セタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副委員長(子爵加藤泰通君)

デハ左様取計ヒマス、先ヅ政府委員ノ御説明ヲ伺ヒマス

○政府委員(三宅正太郎君)

只今議題ニナ

リマシタ法律案ノ中、先ヅ民法中改正法律案及非訟事件手續法中改正法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、現行民法第七百四十九條ニ依リマス、家族ハ戸主ノ意ニ反シテ其ノ居所ヲ定ムルコトヲ得ズ、若シ家族ガ戸主ノ指定シタル居所ニ在ラザルトキハ、戸主ハ其ノ間其ノ家族ニ對スル扶養ノ義務ヲ免レマスノミナラズ之ニ對シ相當ノ期間ヲ定メテ自己ノ指定シタル場所ニ居所ヲ移スベキ旨ヲ催告シ、若シ家族ガ其ノ催告ニ應ゼザルトキハ、之ヲ離籍スルコトガ出來ルコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ離籍ト云フコトハ之ニ依リ家族ハ從來ノ家ヲ去リ一家ヲ創立スルコトニナリ、延イテ若シ其ノ家族ガ遺族扶助料又ハ特別賜金ノ拜受者デアル場合ニハ、其ノ受領ノ資格ヲ失フガ如キ結果ヲ生ズルノデアリマスカラ、一家統率ノ必要上已ムヲ得ザル場合ニ於テノミ之ヲ行フベキ重大ナル制裁デアアルコトハ申スニ及バナイコトデアリマス、然ルニ實際ニ於キマシテハ、往々之ガ濫用セラレルコトガアリマシテ、殊ニ近時未亡人デアル家族ニ對シ不相當ナル居所指定ヲ致シ、其ノ催告ニ應ゼザルコトヲ理由トシテ之ヲ離籍シ、サウシテ右申述ベマシタ扶助料賜金ヲ受ケ得ナイヤウナ不利益ヲ蒙ラシメムトスルガ如キ不祥ナ事例モ少クナイノデアリマシテ、誠ニ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、尤モ斯クノ如キ不當ナ行爲ハ所謂權利ノ濫用トシテ無効ナリトスル判例モアルノデアリマスガ、ソレニハ一々訴訟ヲ起シ無効ノ判決ヲ受ケ

ナケレバ目的ヲ達シ得メセヌノデ、寧ロスル不當ナ離籍ハ之ヲナスヲ得ザルヤウニ豫メ民法上規定致シマスコトガ、忌ムベキ紛爭ヲ未然ニ防止シ我が家族制度ノ精華ヲ發揚致ス所以デアルト考ヘルノデアリマス、此ノ民法中改正法律案ハ此ノ趣旨ニ基キマシテ、家族ガ正當ノ理由ナキニ拘ラズ、戸主ノ居所移轉ノ催告ニ應ゼザル場合ニ、戸主ハ裁判所ノ許可ヲ得テ、之ヲ離籍スルコトヲ得ルモノト改メ、即チ果シテ正當ナ理由アリヤ否ヤト云フコトニ付キ、先ヅ裁判所ノ適正ナ判斷ヲ受ケタル上、事ヲ決セシムトスルモノデアリマス、次ニ非訟事件手續法中改正法律案ハ、右民法ノ改正ニ伴ヒマシテ、離籍ノ許可ニ關スル手續ヲ同法中ニ規定セントスルモノデアリマシテ、即チ右離籍ノ許可ハ其ノ戸主ノ住所所ノ區裁判所ニ於テナシ、其ノ區裁判所ハ離籍セラレントスル家族ヲ審訊シ、其ノ他公開セザル手續ニ於キマシテ、十分事實ヲ探知致シマシタ上デ、之ヲ決セムトスルノデアリマス、次ニ戶籍法中改正法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ御説明致シマス、今次事變勃發以來戶籍事務ハ著シク繁忙ノ度ヲ加ヘマシテ、特ニ諸般ノ身分證明ノ用ニ供スル爲ニ、戶籍謄本又ハ抄本ノ交付ヲ申請スル件數ガ逐年激増致シマシテ、今ヤ全國各地ノ戶籍吏員ハ其ノ處理ニ忙殺セラレテ居リマスノミナラズ、延イテ之ガ處理ニ迅速ヲ缺キ、一般國家ニ迷惑ヲ及ボスガ如キ場合モ少カラザル有様デアリマシテ、誠ニ遺憾デアリマス、此ノ點ニ關

シ事務ノ簡捷ト關係人ノ便益トヲ圖ルト云フコトハ、今日誠ニ喫緊ノ要務デアルト存ズルノデアリマス、此ノ戶籍法中改正法律案ハ即チ此ノ趣旨ニ基キマシテ、戶籍法ニ改正ヲ加ヘ、先ヅ戶籍謄本ノ交付ヲ申請スル者ガ既ニ除籍セラレタル者ニ關スル戶籍ノ記載ハ之ガ謄寫ヲ受クル必要ナシトスル場合ニ於キマシテハ、其ノ者ノ請求ニ依リ其ノ部分ノ謄寫ヲ省略シテ謄本ヲ作ルコトヲ得ルモノトシ、更ニ曩ニ交付ヲ受ケタ謄本若クハ抄本ノ記載事項ニ、其ノ後變更ナキコトノ證明ヲ受ケ、又ハ戶籍ニ記載シタル事項ニ付戶籍吏員ヨリ證明ヲ受ケマシテ、以テ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ受クルニ代フルコトヲ得ルノ途ヲ拓カムトスルノデアリマス、各法案ニ付キマシテ、詳細ナル點ハ、必要ニ應ジマシテ御答辯ヲ致シタイト存ジマス、何卒十分ニ御審議ノ上本案通過ニ御協力アラムコトヲ切望致ス次第デアリマス

○山隈康君 二三御尋ネ致シタイト思ヒマス、第一ハ離籍ニ關シマシテ不服ヲ申立テ裁判ヲ仰イタ數ガ、全國ノ裁判所ニ於ケル數ガオ分リデアッタナラバ其ノ數ノ御示ヲ願ヒタイ、第二ニハ其ノ裁判ノ結果無効ナリト裁判ヲシタ其ノ件數……

○政府委員(坂野千里君) 御答辯申上ゲマス、只今ノ處マダ訴訟事件ニナリマシタノハ極ク僅カデゴザイマス、丁度茲ニ判決ガ參ッテ居リマス數ハ七ツゴザイマス、ソレダケデゴザイマス、七件無効ノ判決ガゴザイマス、ソレカラ其ノ離籍ノ届出ガアリマシタコトニ付キマシテハ、御手許ニ差上ゲタ

ト存ジマスガ、昨年ノ十一月十五日現在ニ於キマシテ六百二十二件アルノデアリマス、其ノ後ノ調査ヲ致シテ居リマスガ、マダ是ハ統計ガ出来マセス、昨年ノ十一月十五日限りデ事件ガ六百二十二件アリマス

○山隈康君 只今御尋ね申上ゲタノハ、不服トシテ裁判ヲ訴ヘマシタ數ト、其ノ裁判ノ結果除籍ガ無効ナリト云フ判決ガドウ云フ「パーセンテージ」ニナツテ居リマセウカ

○政府委員(坂野千里君) 其ノ確實ナル數字ハマダ分リマセズデゴザイマスガ、大體ニ於キマシテ私ノ手許ニ判決ガアリマシタノダケデハ全部無効、原告ノ請求ガ容レラレテ居ルノデアリマス

○山隈康君 次ニ裁判所ノ離籍ガ、裁判所ノ許可ト云フ條件ニ係ルト云フコトハ、極ク結構ノ案ト思ヒマス、併シ裁判所ノ許可ノ決定必ズシモ總テガ無瑕疵ト云フコトハ言ヒ能ハナイ爲ニ、本規定ニ於キマシテモ離籍セラレタル家族ハ即時離籍ノ許可決定ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得、是モ大變結構ノ案ダト思ヒマス、其ノ裁判ノ許可ガ必ズシモ無瑕疵デナイト云フコトヲ前提ト致シマスレバ、裁判所ガ離籍ノ許可ノ決定裁判ヲ致シマシタ場合ニ於テ、戸主ニ對シテ即時抗告ヲ認メナカツテ理由ハドウ云フ譯デアアルカ

○政府委員(坂野千里君) 只今ノ戸主ノ方ハ申請者ニナリマスノデ、非訟事件手續法總則ノ第二十條第二項ニ依リマシテ「申立ニ因リテノミ裁判ヲ爲スヘキ場合」ト云フノニ當リマシテ、不服ガ出来ルコトニナツテ居リマス

○山隈康君 分リマシタ、次ニモ私或ハ調査ノ不十分ダト思ヒマスガ、「裁判所ハ裁判ヲ爲ス前離籍セラレントスル家族ヲ審訊スルコトヲ要ス」是モ非常ニ必要ナ條項ダト思ヒマスガ、是モ矢張り家族ガ住所地ト遠方ニ在ル際ニ於テハ、矢張り共助法ニ依ッテ訊問ノ囑託ヲ爲スコトヲ得ルト解スベキモノデアリマセウカ

○政府委員(坂野千里君) 御意見ノ通りデゴザイマス

○山隈康君 モウ一ツ戸籍法改正ニ付テ伺ヒマス、此ノ離籍ハ結局形ハ戸籍謄本ニ存在ハシテ居リマスケレドモ、其ノ實質ニ於テハ其ノ戸籍カラ結局離脱シタコトニナル譯デアリマスルカラ、法制ノ下デ戸籍謄本ハ法律上、戸籍上有效ナルモノ、即チ離籍以外ノ部分ガ戸籍謄本トシテ記載スベキモノト云フ法律ニソレヲ決メラレマシテ、必要ナル場合ニ於テ、申請者ノ必要ノ場合ニ於テ離籍ノ分迄モ記載スルコトガ出来ルト云フ趣旨ハ如何デアアルカト存ジマス、其ノ實情ト致シマシテハ、ナカ／＼斯ウ云フ法律ガ一般ノ民衆ニ徹底スルコト云フコトハ相當長日月ヲ要スルノデハナイカト思フノデアリマス、除籍ノ必要ノ場合ニソレヲ省略ノ申出ヲ爲スコト云フコトノ此ノ法律ノ趣旨ガ一般ニ徹底ヲ致シマシテ、無用ナ煩瑣ナ手續ヲ省略スト云フ實效果ヲ得ルト云フコトハ容易デナイト思フノデアリマス、此ノ故ニ是ハ法律ノ規定ニ依リマスルト、有效ナル、現在效力ヲ有スル部分ガ即チ戸籍謄本トシテ記載スベキモノデアッテ、既ニ離籍セラレタモノガ、或ハ場合ニ依ッテハ必要ナコトガアリマセウガ、サウ云フ場合ニハ申請者ノ申請ニ依ッテ記載スルコトヲ得ルト云フアベコベニ考ヘルト云フコトハ、何カ法律上差支ガアルノデアリマセ

ウカ、立法上差支ガアルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

○政府委員(坂野千里君) 御尤モノ御意見ナンデアリマスルガ、謄本ト申シマス、矢張り其ノ儘ノ原本ト少シモ缺クル所ノナイノヲ謄本ト、斯様ナ考ヘ方ヲ先ツ致シテ居リマスノデ、戸籍ニ離籍者モ矢張り載ッテ居リマス、其ノ關係上、謄本トシテハ一應ハ其ノ儘ノモノデナケレバ工合ガ惡イト云フ、サウ云フ所カラ例外トシテ請求ニ依ッテソレヲ除クト、斯様ニ致シタ譯デゴザイマスガ、ソコデ今仰シヤクヤウナ、ソレデハ申請人ノ不便ガアルノデヤナイカト云フ御意見御尤モダト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテ此ノ謄本ノ請求ガゴザイマス、戸籍吏ノ方モ注意ヲ致シマシテ、此處迄必要ガナイナラバ省イテ宜イノデヤナイカト、斯様ナ注意ヲ致シテ、大體此ノ方ガ實際ノ働キトシテハ原則トシテ動クノデヤナイカ、其ノ點ニ付キマシテ戸籍吏ノ方カラ色々私ノ方ニ申出ガアルノデゴザイマスガ、其ノ申出ノ意見モ全部サウ云フヤウニ、原則トシテハ矢張り謄本デ請求ニ依ッテ發行ヲスルノデ、是ハ我々モ注意スレバ動ケルノダト、斯様ニ申シテ居ル次第デアリマス

○山隈康君 是ハ戸籍謄本ニ對スル法律上ノ見解ニ依ッテハ如何ヤウニモ出来ヨウト思ヒマスガ、強ヒテ此ノ點ハ御伺フ致シマセス、少シ問題ニ或ハソグハス點ガアルカトモ存ジマスケレドモ、一應伺ッテ見タイト存ジマス、此ノ戸籍謄本ノ手数料、是ハ郵便切手デモ宜シイノデアリマスケレドモ、原則ト致シマシテハ現金デ納付スルト云フノガ此ノ趣旨ニナツテ居ル、ソコデ先達テ或貴族院ノ方ノ非常ニ困ツタ實例ヲ伺ヒ

マシタ、大阪ノ市役所ニ戸籍謄本ヲ申請致シマシタ、其ノ際便宜上ソレニ相當スルコトヲ考ヘマシテ郵便切手デ申請ヲシタ、處ガ大阪ノ市役所デハ是ハ現金デナケレバイカスト云フコトデ突返シテ參リマシタガ爲ニ、タツタ一枚ノ戸籍謄本ニ十五錢ノ爲替ヲ組ンデ態々之ヲ送ツタト云フコトデアリマス、何カ大正十三年カニ戸籍法改正ノ際ニ、委員中ニ於テソレハ郵便切手デモ差支ナイト云フコトヲ法律ニ決定シヨウデヤナイカト云フヤウナ意見ガ出タサウデアリマス、併シ實際ノ取扱トシテハ、ソレハモウ各町村役場デモ郵便切手デ宜イノデアリマシテ、郵便切手ヲ代用シテ實際ノ取扱トシテ差支ナイノダト云フコトデ、其ノ儘ニ取扱ハレルト云フコトヲ承ッテ居ル、ソレハ甚ダ大阪ノ市役所ノ取扱ハ依估地ナ取扱ダト思ヒマスガ、法律カラ言ヘバ正當ナ主張ニナルヤウデゴザイマスガ、何カ其ノ點ニ付テハ司法省ニ於テ御考ガナイカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○政府委員(坂野千里君) 御尋ノ點ニ付キマシテハ、司法省ト致シマシテハ郵便切手デモ受領スルヤウニト云フ指令ヲ致シテ居ル譯デアリマス、何カ其ノ時分ラズニ感違ヒヲシテヤッタノデヤナイカト思ヒマスガ、後デ注意ヲ致シマシタ所、向フデモ感違ヒダツト云フコトヲ申シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○男爵奥田剛郎君 先程山隈委員ノ御尋ニ對スル御答中ニ、離籍ノ裁判數ハハッキリシナイガ、現在ノ所七件、ソレガ判決ガ無効トナツタト云フヤウニ承ツタノデアリマスガ、ソレハ何時頃カ何時頃迄ノ間ノ數デゴザイマスカ、御分リデセウカ

○政府委員(坂野千里君) 事變發生後カラ
サツキ申シマシタ昨年ノ十一月頃迄デゴザ
イマス

○男爵奥田剛郎君 サウシマス昭和十五
年十一月十五日現在、軍人又ハ軍屬ノ遺妻
ノ離籍届出事件調ト云フ民事局ノ御調ノ件
數ハ六百二十二件ト云フモノハ、是ハ別ニ
權利濫用ノ理由デ訴訟沙汰ニナツテ居ル件
數ガ非常ニ多イト云フ譯デナクテ、先程政
府委員カラ御説明ノヤウナ離籍ノ結果、賜
金ナリ扶助料ナリヲ受ケルコトガ出來ナク
ナルト云フコトガ非常ニ事變以來殖エタト
云フ點ヲ睨ンデ、今度ノ改正ガ必要ト御認
メニナツタヤウニ心得テ宜シイノデゴザイ
マスカ

○政府委員(坂野千里君) 御答ヘ申上ゲマ
ス、今判決ダケ申上ゲマシタノデスガ、訴
訟ガ何件アルカハマダ數字ガハッキリ分リ
マセス、確タルコトヲ申上ゲ兼ネルノデア
リマス、ソコデ此ノ六百二十二件ノ中、訴
訟ニナツテ居ルノハ少イノデヤナイカト云
フ御尋ネ、御尤モデゴザイマス、此處デー
ツ實例ヲ申上ゲマシテ、ドウ云フヤウニソ
レガ今動イテ居ルカト云フコトヲ申上ゲテ
見タイト思ヒマス、最近ノ一番手近ナ實例
ヲ一ツ申上ゲマス、戸主ハ鹿兒島縣ニ居リ
マス、其ノ四男ガ臺灣ノ高雄市ヘ今カラ十
年餘モ前ニ轉任シマシテ、其處デ職ヲ求メ、
ソレカラ八年前頃ニ妻ヲ得マシテ、サウシ
テ子供モ二人アリマス、サウ云フコトデ郷
里ノ戸主、即チ父デアリマスガ、父トノ間
ニハ殆ド往復ガナカッタ、斯ウ云フヤウナ狀
態デ全然向フデ生活ラシ、向フノ人々ト附
合デヤツテ居ッタ、處ガ一昨年其ノ夫ガ召集
サレマシテ、名譽ノ戦死ヲ遂ゲマシタ、サウ

シテソレニ對シテ御下賜金ガアルト斯ウ云フ
ゴトニナリマス、突然鹿兒島ノ父カラ鹿兒
島ニ居所ヲ指定シテ、其處ニ住居ヲシロト云
フコトヲ其ノ妻ニ言ッテヤツタ、ソコデ其ノ事
ヲ知リマシテ、臺灣ニ居リマスレバ、遺家族
ダト云フノデ、隣組トカ其ノ他、其處ハ市デ
アリマスガ、市ニ於キマシテモ色々救助ノ
手ヲ延シテ居ッタ次第デアリマスガ、サウ云
フ事ガ參リマシタノデ、市ノ軍人援護會ニ
相談ニ參リマシタ、サウシテ其ノ方カラモ、
ソレハ斯ウ云フヤウニ長クコナラニ居タノ
ダカラ、コナラノ生活ガシ易イノデヤナカ
ラウカト云フノデ鹿兒島ノ本籍ノ方ノ市町
村長ナリ、戶籍吏ニ色々照會ヲ致シマス、
ソレカラ憲兵隊モ間ニ入ッテ色々心配ヲ致
シマシテ、ドウカ離籍ト云フコトハ止メテ、
矢張り其ノ方ニ住マハシテヤル方ガ宜イノ
デヤナイカト云フコトヲ言ッテ、色々説得ス
ルノデアリマスガ、與ヘラレタル權利ハ戸
主トシテ行使スルト斯様ニ言ヒマシテ、離
籍ヲドウシテモ受理シテ呉レト強ヒテ提出
シタ、戶籍吏ト致シマシテモ、サウ云フヤ
ウニ提出致サレマスレバ、之ヲ拒ムコトガ
出來ナクテ、受理ヲ致スト離籍ニナル、ソ
コデ臺灣ノ方ノ軍人援護ノ方ノ關係デモ非
常ニ心配シテ、ソレデハ氣ノ毒ダ、コナラ
デヤツト責任ヲシテ暮シテ行ケルノニ、
見モ知ラス處ニ行ツテハ子供ヲ育デルコト
モ出來ヌデヤナイカ、何トカナラスダラウ
カト云フノデ、色々心配ヲ致シマシテ、マ
ダ御下賜金ヤ何カモ本籍地ノ市町村長ノ手
許ニ留保シテ、仲直リヲサセヨウト云フノ
デ、是ハ大體ニ於キマシテ出來ルダケ軍人
援護會其ノ他ノ人々ガ間ニ入り、軍ノ方モ
關係シマシテ、訴訟ガ起ラスヤウニ、其ノ間

ニ立チマシテ色々仲介ラシテ居リマシタ、
ソレデ訴訟件數ハマダ判明致シマセスノデ
スガ、此ノ離籍ノ届出ノアリマシタ全部ニ
付テ訴訟ガ起ル形ニハナカ、ナツテ居ナ
イノデヤナイカト、斯様ニ考ヘラレヤウ
ナ狀況ニゴザイマス、併シナガラ出テ參
リマス例ハ大體之ニ似タヤウナ例デアリマ
シテ、總テノ各關係ノ處カラ常ニ之ニ付テ
何カ適當ナ方法ヲ講ジテ呉レト云フコトハ、
度々私ノ方ニモ申シテ來テ居ルト云フコト
ニナツテ居ルノデアリマス

○男爵奥田剛郎君 只今ノ實例ハ分リマシ
タノデスガ、私ノ伺ヒマスノハ此ノ六百二
十二件ノ届出數ガ現レテ居リマスガ、其ノ
中デ實際ニ裁判沙汰ニナツテ居ルノガドレ
位カト云フコトヲ承知シタイノデアリマス
ガ、其ノ點ハ急ニハ御解リニナラナイデゴ
ザイマセウカ、急ニ御解リニナラナケレバ
モウ宜シウゴザイマス

○政府委員(坂野千里君) 一兩日ニ調ガ付
クト考ヘテ居リマス、付キマシタラ直グ差
上ゲマス

○山隈康君 何ダカ一向研究セヌ御尋デ恐
縮デスガ、只今ノ政府委員ノ御説明ニ依リ
マスルト、謄本ハ戶籍簿ニアル全部ヲ謄寫
スルト云フノガ原則デアル、ソコデ除籍ニ
關スル分ハ、結局意思表示ニ依ッテ省略スル
コトガ出來ル、其ノ點ハ了解致シマシタガ、
サウ致シマス、抄本トノ差ハドウデセ
ウ、抄本ト云フノハ必要ナ部分ダケヲ請求
スル場合デアリマシテ、戶籍謄本ト云フモ
ノハ全部ヲ記載スルト云フコトガ原則デア
レバ、此ノ一部ヲ抜イタノガ抄本ト解スベ
キモノデハナイカト云フ疑ガアリマスガ……

○政府委員(坂野千里君) 御尤モデゴザイマ

シテ、此ノ法律ガ出マセスト、ソレヲ略
シタモノハ抄本ト言ハナケレバナラスノデ
ヤナイカト思ヒマス、ソコデサウ云フ風ニ
抄本ニ致シマス、ドウ云フ譯デゴザイマ
スカ、司法次官ノ通牒、其ノ他内閣書記官
長ノ通牒デ、學校、官署、會社工場等ニ、
色々必要ナ場合ニハ抄本ニシテ呉レト言ヒ
マシテモ、總テ謄本ト云フコトニ書キマシテ、
謄本ト云フコトニシテ出サセル、ソレデド
ウモ謄本ヲ非常ニ出サナケレバナラスト云
フ關係ニナル、普通除イタモノヲ抄本トシ
テ置キマス、ナカ、請求シテ呉レナ
イ、ソコデ此ノ法律デ其ノ一部、ソレダケ除
イタモノガ矢張り謄本ダト云フヤウニ解釋
致シマシテ、ソレヲ謄本ト致シマスレバ、請
求ラシテ呉レルコトニナリマシテ、非常ニ樂
ニナル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス

○男爵奥田剛郎君 チョツト戶籍法ノコト
デ伺ヒマスガ、是モ調べタ上デナイノデ、適
當ナ御尋デナイカモ知レマセスガ、第十四
條ノ三「戶籍ニ記載シタル事項ニ付キ證明
ヲ受ケントスル者ハ手数料ヲ納付シテ之ヲ
請求スルコトヲ得」ト云フコトニナツテ居
リマスガ、戶籍謄本ヲ求メラレタル場合デ
モ、必要ナ點ハ其ノ中ノ一二ノ事項ニ止ル
ノガ多い、其ノ場合ニ必要ナ事項ダケノ證
明ヲ受ケテ、戶籍謄本トシテソレニ代ヘラ
レルト云フ風ニ解シテ差支ナイデゴザイマ
セウカ

○政府委員(坂野千里君) ソレハ色々ノ場
合ガアリマシテ、謄本デナケレバナラスト
云フノデアリマス、是ハ代ヘラレスト思
ヒマスガ、併シナガラ普通ノ會社トカ學校
トカニ於キマシテ、必要トスル場合ハ、是
デ我慢ガ出來ルト云フコトニナリマスレ

パ、ソレデ宜シイノデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵奥田剛郎君 サウスルト、戸籍謄本トアル時ニハ、ドウシテモ是デハ代ヘラレナイ、ケレドモ其ノ他ノ場合ニハ、ソレヲ受取ル方デ宜イト言フナラ、代ヘラレルノダ、斯ウ云フ風ニナルノデゴザイマセウカ

○政府委員(坂野千里君) 御意見ノ通りト考ヘマス

○男爵奥田剛郎君 モウ一ツ、第十四條ノ二ハドウ云フヤウナ場合ヲ豫想シデアリマスルカ

○政府委員(坂野千里君) 是ハ數年前、譬ヘテ見マスレバ、昭和十年ニ戸籍謄本ヲ請求シテ持ッテ居ル、處ガ其ノ後家ニ變動ガゴザイマセヌ、ソレデ今度戸籍謄本ヲ出セト云フコトニナリマス時ニ、前ノ戸籍謄本通リダト云フノデ、ソレデ前ノ戸籍謄本ヲ利用致シマシタ、新シイ戸籍謄本ヲ提出ニ代ヘル爲ニ斯ウ云フ手續ヲ執ルト云フノデゴザイマス

○男爵奥田剛郎君 ソレ以外ニハアリマセヌノデゴザイマセウカ、ト言フノハ十年モ前トカ、或ハ一年モ二年モ前ノ戸籍謄本ヲ持ッテ居ルト云フコトハ、ソレハアルニハアリマスルガ、大抵戸籍謄本ヲ請求スル時ニハ、必要ナ部數シカ取ラナイノガ普通デ、餘分ナモノハ持ッテ居ラナイノガ實際デヤナイカト思ハレマス、サウスルト云フト、手數ヲ省クト云フ點カラ言ッテハ、ソシナニエライ違ヒハナイヤウニ思ハレマスガ、他ニマダ何カ場合ガアリマスデゴザイマセウカ

○政府委員(坂野千里君) 戸籍謄本ヲ前ニ貰ヒマシテ、ソレヲ蓄ヘテ居ルコトモアリ、

又ソレハ一回ソレハ出シテシマッテハゴザイマスガ、色々契約書其ノ他ニ附ケマシタ時ニハ、ソレガ又濟メバ戻ッテ手許ニアルト云フコトモ想像出來マスノデ、相當利用ガ出來ルノデハナイカト考ヘマス、其ノ外ニ只今ノ處、チヨット例ヲ考ヘテ居リマセヌ

○山隈慶君 チヨットソレニ關聯シタコトデゴザイマスガ……十四條ノ二トカ、十四條ノ三、是ハ私結構ナコト存ジマスガ、手數料ハ幾ラデセウカ、戸籍謄本ハ一枚十五錢デアリマスガ、證明ノ手數料ガ高クナレバ、一向意味ヲナサスコトニナリマス、戸籍謄本ノ手數料ガ一枚十五錢デ、證明ノ手數料ガ二十錢モスルト云フコトニナリマス、折角ノ此ノ制度ガ駄目ニナルヤウニ思ヒマスガ……

○政府委員(坂野千里君) ソレハ今私共ノ考ヘテ居リマス所ハ、一枚十五錢ト云フコトニ考ヘテ居リマス、戸籍謄本ハ一枚ノ紙ニ付テ十五錢デゴザイマス

○山隈慶君 結局同ジデスネ、ヨク分リマシタ

○村上恭一君 私ハ先ヅ一般的ノコトヲ御伺ヒシテ見タイト思ヒマス、御承知ノ通り大正十四年臨時法制審議會ニ於キマシテ、民法親族編中改正ノ要綱ヲ決議シテ、内閣ニ答申サレテ居リマス、是ハ相當朝野ノ權威ヲ集メテ設ケラレマシタ臨時法制審議會ニ於キマシテ、慎重ナル調査討議ノ結果出來上ツタモノト思ヒマス、其ノ會議ノ構成ニハ當時ノ司法省及裁判所ノ最高幹部ノ御方モ御參加ニナツテ居ラレタト存ジマス、斯クシテ出來上リマシタ此ノ決議、此ノ要綱ハ今日迄既ニ十有六年ノ年月ヲ經過シテ居ルノデアリマスガ、其ノ間歴代ノ司法當局

ニ於キマシテハ之ヲ如何ニ眺メ、如何ニ取扱ツテオイデニナツタノデアリマスガ、其ノコトヲ先ヅ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(三宅正太郎君) 只今ノ御質問ニ對シマシテ御答ヘ申上ゲマス、臨時法制審議會ノ決定致シマシタ親族法、相續法改正ノ要綱ニ基キマシテ、之ガ起案ノ爲ニ親族法、相續法ノ調査會ガ出來マシテ、現在デモ其ノ調査會ガ活動ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレデ其ノ要綱ニ基キマシテ、民法中ノ親族編、相續編ノ改正ノ條文ヲ作リマシテ、大體ニ於テ其ノ案ハ出來テ居ルノデアリマスガ、併シ是ハ重大ナ法案デアリマシテ、十分ニ檢討ヲ致シマシテ議會ニ提出致サナケレバナリマセヌノデ、大體ニ於テノ案ハ出來テ居ルノデアリマスガ、今再檢討ヲ致シテ居ル程度デゴザイマス、再檢討ガ濟ミマスレバ、速カニ議會ニ提案ヲシテ御審議ヲ仰ギタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○村上恭一君 恐ラク左様ナ御經過デアラウト想像シテ居ッタノデゴザイマスガ、ソレデ近ク民法ノ親族編中ノ改正法律案ノ成案ガ出來テ帝國議會ニ提案サレルト云フコトニナル御見込デゴザイマセウカ

○政府委員(坂野千里君) 只今其ノ相續編ノ改正ノ方ハ大體議了致シマシテ、親族編ノ方ニ入りマシテ、今二十條バカリノ處ヲヤツテ居リマス、ナカノ色々ナ議論ガアルノデアリマシテ、進行シナイノデゴザイマス、毎週一回進行小委員會ヲ開イテ討議シテ居ルノデアリマス、只今ノ進行ノ工程ニ依リマスと云フト、本年中心ハ親族編ガ終ヘルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、ソレト相續編、ソレカラ色々ナ準備モ

ゴザイマスルノデ、非常ニ好都合ニ參リマスレバ、明年ノ議會ニハ提出ガ出來ルノデヤナイカト思ヒマスガ、併シ是ハサウ確實ニ申上ゲル譯ニハ只今參リマセヌ、或ハモウ一議會遅レルカモ知レヌ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○村上恭一君 其ノ同ジ臨時法制審議會ニ於キマシテ、民法相續編中改正ノ要綱モ議決シ答申ニナツテ居ルノデアリマスルガ、司法當局ニ於キマシテハ、此ノ方ニモ手ヲ著ケテオイデデゴザイマセウカ、サウシテ今先キ伺ヒマシタ親族編ノ改正ト、相續編ノ改正ト併セテ進行ナサルト云フ御見込デゴザイマセウカ

○政府委員(坂野千里君) 其ノ相續編ノ改正ハ、要スルニ親族編ノ改正ト相俟ツモノデゴザイマシテ、譬ヘテ見マスレバ、相續編ニ於ケル能力ノ規定ハドウ云フ風ニ動カスカ、斯ウ云フ風ナコトニナルノデゴザイマス、親族編ガ完成致シマスレバ、ソレニ伴ヒマシテ相續編ノ處モ改正致シテ出ス積リデゴザイマス

○村上恭一君 其ノ改正法律案ニ於キマシテハ、此ノ臨時法制審議會ニ於テ議決サレマシタモノヲ、其ノ儘何等變更ナシデハアリマスマイガ、大體ニ於テ此ノ線ニ沿フコトニナツテ居ルノデアリマセウカ

○政府委員(坂野千里君) 御尋ノ通りデゴザイマス、大體其ノ線ニ沿フテ居リマスデゴザイマスガ、二三ノ處ニ變更ガゴザイマス、譬ヘテ申シマスト、今出テ居リマス問題モ既ニ左様デゴザイマシテ、法制審議會ノ要綱デハ七百四十九條第三項ヲ削除スルコト、トアリマスガ、削除セズニ少シク緩和スルト云フ、斯ウ云フ形ニ出テ居リマス

○村上恭一君 同臨時法制審議會ニ於キマシテ、少シ遅レテハ居リマスガ、大正十五年ニナツテ居リマスガ、刑法改正ノ要綱モ議決シテ答申セラレテ居リマス、此ノ頃世間ノ傳ヘル所ニ依リマスレバ、今ノ司法當局ニ於テハ刑法典ノ全面的ノ改正、即チ臨時法制審議會ノ答申ニ係ル改正要綱ニ副フタ、刑法典ノ全面的改正ハ一先ツ拋棄シタ、斷念シタト云フヤウニ承テ居リマス、民法親族編、相續編ノ改正ニ付テハサウデハナイ、之ヲ實行シヨウト云フ御趣旨デ、私共ハ近イ將來ニ其ノ改正法律案、民法典ノ重要ナル改正法律案ガ提案サレルコトヲ期待シテ宜シイノデアリマセウカ

○政府委員(三宅正太郎君) 只今刑法ノコトヲチョット御言及ニナリマシタノデ申上ガマスガ、刑法ノ方モ刑法並ニ監獄法ノ委員會ニ於キマシテ、矢張り此ノ要綱ニ基キマシテ調査ノ上成案ガ出來マシテ、只今假案ト云フ名前ノ下ニ世間ニ發表致シマシテ、世間ノ批判ヲ乞フテ居ル譯デアリマス、而シテ刑法監獄法ノ委員會ハ内閣ノ方針ニ依リマシテ、事變中一時廢セラレマシテ、從テ其ノ立案ニ付テノ進行ガ多少阻害サレマシタケレドモ、併シ其ノ刑法ノ中デ、刑法ノ假案トシテ出來マシタ中ノ、適當ト認メラレマスル部分ハ漸次刑法ノ部分的ナ改正ニ依リマシテ、刑法ノ中ニ編ミ込メデ行キタイト思ッテ居リマス、現ニ近ク此ノ議會ニモ刑法ノ一部改正ノ法律案ガ提出セラレルコトト思ヒマスガ、ソレハ矢張り假案ニ基イテ其ノ一部ヲ刑法ノ中ニ入レル譯デアリマス、是ハチヨット刑法ノコトニ付テ申シタノデアリマス、民法ノ方ハ只今申上ガマシタヤウニ、刑法ノ委員會ガ廢止セラレマス

ニ拘ラズ、民法ノ方ハ既ニ正ニ完成ニ近ヅイテ居ルト云フ理由ノ下ニ廢止ニナリマセヌデ、只今民事局長カラ申上ガマシタヤウニ、毎週一回ツ、進行致シテ居リマスノデ、是ハ出來ルダケ速カニ出來マシタラバ、成ルベク早く提案致シタイト思フノデアリマシテ、御期待ニ背カナイヤウニ致シタイト思ヒマス

○村上恭一君 承ル所ニ依リマスレバ、民法ノ改正事項ハ殘ス所モ事務的ノ事柄ダケデアルヤウニ存ゼラレマスルガ、尤モ此ノ改正法ヲ施行シマスルニ付キマシテハ、家事審判所デスカ、サウ云フモノヲ新設スルコト等ノ爲ニ經費ヲ要スル、豫算ニ關係ガアルト云フコトモゴザイマセウガ、ドウゾ速カニ法律改正ノ出來上リマスルヤウニ、速カニ改正法ノ實行ヲ得マスルヤウニ、此ノ上トモ更ニ御努力アラムコトヲ希望致シマシテ、只今伺ッテ居ルコトヲ一應結ビマス、續キマシテ御伺ヒスルコトデゴザイマスルガ、今回ノ民法中改正ノ案デゴザイマス、民法第七百四十九條第三項ニ改正ヲ加ヘヨウト云フ御案デゴザイマス、處デ先刻來私ガ述ベテ居リマスル、大正十四年臨時法制審議會決議ノ民法親族編中改正ノ要綱第八ノ離籍及復籍ト云フ所ノ第二ニ於キマシテハ、「民法第七百四十九條第三項ヲ削除スルコト」トアリマス、是ハモウ司法當局ハ疾ウニ御承知ノコトデゴザイマセウガ、即チ此ノ決議要綱ニ依リマスレバ、本件ノ場合ニ於テハ戶主ハ家族ヲ離籍シ得ナイト云フコトニシテシマフ、家族ハ戶主ノ居所指定ニ應ジナイ場合ニハ、戶主ハ扶養ヲ拒ムコトガ出來ル、扶養ヲ爲サザルコトヲ得ル、其ノ制裁ダケデ十分デアル、其ノ上ニ離籍迄シテ一家ヲ創

立サセル、其ノ離籍ヲ受ケマスル家族ガ夫デアリマスレバ、妻ハ從ッテ其ノ離籍セラレタル者、即チ一家ヲ創立シマス者ノ家ニ入ルヤウニ存ジマスルガ、直系卑屬ハ矢張り元ノ家ニ居ルモノデゴザイマセウ、サウシマスルト、夫婦ハ一緒ニ新シイ家ニ入ッテ行キマスガ、親子ハ家ヲ離レテシマフト云フヤウナ重大ナ事態ヲ生ズル次第デアリマスルノデ、此ノ場合ニ於ケル離籍ノ制裁ハ取り止メヨウト云フノガ此ノ臨時法制審議會ノ決議要綱デアルト存ジマスルガ、之ヲ司法當局ニ於キマシテハ其ノ儘ニハ御受入レニナラナイデ、若干制限スルト云フダケニ此ノ改正ハ出來テ居ルヤウニ御見受ケ致シマスルガ、何故ニ此ノ臨時法制審議會ノ決議要綱ヲ其ノ儘御採リ入レニナルコトガ出來ナカッタノデゴザイマセウカ、ソコノ心持ヲモウ少シ詳シク伺ヒタイト思マス

○政府委員(坂野千里君) 御尤モノ御尋デアリマス、臨時法制審議會デハ七百四十九條第三項削除、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、之ニ付キマシテ民法調査委員會デ色々審査致シタ譯デアリマスガ、成程此ノ離籍ノ行使サレテ居ルノガ相當不當ニ行使サレテ、訴訟上大體ニ於テ此ノ離籍ハ無効ダト云フ判決ニナツテ居リマス、併シナガラ段々色々ヤッテ參リマス、又或場合ニ依ッテハ此ノ離籍ヲ行使シナケレバナラス、家族トシテハ是非戶主ト同居スベキモノデアルト云フ實例モ全然ナイデモナイヤウニモ考ヘマス、デ段々調査會デ審査致シマシテ、重大ナル事由ガアツタ時ニ、矢張り離籍出來ルヤウニシナケレバナラヌダラウ、サウ云フ風ニ段々變ッテ來テ居ル、ソコデ今度大體ニ於テ改正案デハ重大ナル事由ガア

レバ、離籍ガ出來ルト云フコトニ行キマス、其ノ改正案ガ愈々帝國議會ノ協賛ヲ得マシテ公布サレルト云フ迄ハ今申シマシタヤウニ、暫ク時間ガ掛ル、處ガサツキノヤウナ理由デ離籍ノ届出ガ出テ參ル、其ノ間ニ爭ヒガ深刻ニナル、サウ云フヤウナコトカラ、成ルタケ現行法ノヒドイ改正ニナラナイデ、現行法ト調和サセナガラ其ノ趣旨ヲ入レタイ、サウ云フ所カラ只今ノヤウナ改正案ニナツタ譯デアリマス、將來モ全然離籍權ヲ取ッテシマフト云フコトニハ行カナイノデヤナイカト考ヘルノデアリマス

○村上恭一君 一應了承致シマシタ、此ノ場合ニ於ケル戶主ノ離籍ヲ制限スルニ付キマシテ、本案ニ依リマスレバ、裁判所ノ許可ヲ要スルト云フコトニナルノデアリマスガ、サウシテ家族ガ戶主ノ催告ニ應ゼザルコトニ相當ノ理由ガナイト云フ時ハ、裁判所ガ許可ヲ與ヘルト云フ建前ニナツテ居ルト思ヒマスガ、之ヲ斯ウ考ヘルコトハ出來ナイモノデアリマセウカ、即チ戶主ガ家族ノ居所ヲ指定スルコトニ正當ノ理由アル時ハ、裁判所ノ許可ヲ得テ離籍ヲ爲スコトヲ得、正當ノ理由ガアルカナイカラ本案ノ如ク家族ニ即シテ判斷スルノデナク、戶主ニ即シテ判斷スルト云フ考方ハアリマス、ソレハ或場合ニハ一致スルデアリマセウ、戶主ガ居所ヲ指定シマシテ、家族ハ之ニ應ゼザルコトニ正當ノ理由ガナイト云フコトハ、言ヒ換ヘレバ、戶主ガ居所ヲ指定スルコトニ正當ノ理由ガアルト云フコトニナルノデアリマセウガ、必ズシモサウデナイ場合ガアリマス、平タク言ヒマスと云フト、戶主ハ自分ノ勝手デ家族ノ居所ヲ指定スルコトガ出來ル、家族ハ正當ノ理由ガナケレ

バ、ソレヲ拒ムコトハ出来ナイト云フコトニナリマス、寧ろ考方ヲ變ヘマシテ、戸主ハ正當ノ理由ガアル時ハ家族ノ居所ヲ指定スルコトガ出来ル、ソレデ應ジナケレバ、裁判所ノ許可ヲ得テ離籍スルコトガ出来ルト云フコトニナリマスレバ宜シクハナイカト云フ、斷定ヲ持ツ譯デアリマセヌケレドモ、サウモ考ヘラレマス、ソレデハイケナイモノデアリマセウカ、大體ニ於キマシテ此ノ條項ノ働キマシル場合ニ、考ヘテ見マスレバ、家族ガ或場所ニ居住シテ居リマス、ソレヲ戸主ガ外ノ處ニ變ラセヨウ、家族ノ轉居ヲ命ズルト云フ場合ノコトデアリマス、家族ノ方デ其ノ轉居ヲ拒ム大シタ理由モナイ、併シ戸主ノ方デモ轉居ヲ命ズルコトニモ大シタ理由ガナイト云フヤウナコトガアリサウニ思ハレルノデアリマス、サウ云フ場合ニドチラヲ勝タセルカ、家族ノ方ニ轉居ヲ拒ム正當ノ理由ガナイカラ負ケト云フコトニスルカ、戸主ノ方ニ轉居ヲ命ズル所ノ正當ノ理由ガナイカラ負トスルコトニナルカハ、結果ニ於テ違ヒガアルト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテ原案者ノ御心持ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(坂野千里君) 誠ニ御尤モナ御意見デゴザイマシテ、細カク申シマスレバ、御説ノヤウニ此ノ案ト御意見ノ案トハ幾分ノ差異ガアルノデハナイカト考ヘマスガ、大體ニ於テ働クノデハナイカ、サウシテ假令ドチラガ宜イカト云フコトニナリマス、御意見ノ如ク考ヘラレルノデハナイカト私モ考ヘマス、只サツキ申シマシタヤウニ此ノ民法ハ遠カラズ全部改正ヲ致シマス、ソコデ成ルタケ今ノ民法ノ線ニ沿ヒナガラ適當ノ所ノ改正ニシテ置キタイ、斯ウ云フ趣

旨ガ非常ニ動キマシテ、大體斯様ニ書キマシテモ、今仰シヤッタヤウナ大體裁判所ノ働キデ動クノデハナイカ、斯ウ云フ所カラ斯様ナ改正ヲ見マシタノデアリマス

○村上恭一君 裁判所ガ此ノ許可ヲ與ヘル事件ハ非訟事件デアリマスカラ、原告被告ト云フ對立ハナイ、從ヒマシテ正當ノ理由ノ有無ニ付テノ舉證責任ガドチラニ在ルカト云フコトモ問題ニナラナイト思ヒマスガ、裁判所ガ此ノ事件ヲ取扱フ時ニドウ云フ順序ニナルノデアリマセウカ、戸主ガ此ノ許可ヲ申請シマスソレニハ、家族ガ正當ノ理由ナクシテ催告ニ應ジナイト云フ事實ヲ疏明スレバ宜シイノデ、正當ノ理由ガナイト云フコトヲ證據ツケルニハ及バナイト思ヒマス、家族ハ審訊ヲ受ケマス、其ノ時ニ自分ガ戸主ノ催告ニ應ジナイノハ正當ノ理由ガアルト云フコトヲ主張致シマス、之ニ付テ申請者タル戸主ガ反證ヲ舉ゲル、反對ノ主張ヲスルト云フコトニナル譯ト思ヒマスガ、其ノ場合裁判所ハ申請者タル戸主ヲ審訊スルト云ヒマスガ、ドウ云フコトヲスルノデアリマスカ、ソコヲチヨット伺ヒタイ

○政府委員(坂野千里君) 裁判所ハ是ハ必ズシナケレバナラヌト云フ風ニハ出テ居リマセヌガ、申立人ノ書面ニ依リマシテ色々違ヒマセウカラ、原則トシテハ審訊スルコトニナルダラウト思ヒマス

○村上恭一君 私、非訟事件ノ取扱方ハ一向知リマセスカラ念ノ爲チヨット伺ヒ置キマスガ、斯様ナ事件ノ取扱ノ際ニ於キマシテハ、檢事ハ干與スルノデアリマスカ、意見ヲ述ベルコトヲ得ルト云フコトニナッテ居ルノデアリマセウカ、或ハ意見ヲ聽クコトヲ要スト云フコトニナッテ居ルノデアリ

マスカ

○政府委員(坂野千里君) 檢事ノ意見ヲ聽クコトヲ要ストハナッテ居リマセヌデスガ、是ハ裁判所ガ必要ト思ヒマスレバ檢事ノ方ニ協力ヲ求メルト云フコトニナリマス、サツキ御話ノアリマシタ通り、普通ノ訴訟ト云フヤウナ對立ノ關係デナクテ、裁判所ガ公益上必要トシテ職權的ノ取扱ヲ致シマス、斯様ニナッテ居リマス

○村上恭一君 非訟事件手續法中改正法律案ニ付テデアリマスガ、此ノ離籍許可ノ管轄裁判所デアリマスガ、此ノ案ニ依リマス、戸主ノ住所ノ區裁判所ノ管轄ニナッテ居ルヤウデアリマス、之ヲ轉ジテ、離籍ヲ受ケムトスル家族ノ住所ノ區裁判所ノ管轄ト云フ譯ニハ行カヌモノデアリマセウカ、之ハ實際ニハ當事者ノ便否ニ大キナ關係ガアラウト思ヒマス、戸主ハ自分ノ手近ノ區裁判所ニ請求スレバ宜シイト云フノデ便利デアリマスガ、離レタ所ニ居リマス家族ノ區裁判所ニ請求スルト云フコトニナルト非常ニ違ヒマス、ソレデ此ノ請求ノ對象トナリマシタ家族ガ、裁判所ノ審訊ヲ受ケルノハ結構デアリマスガ、戸主ノ住所ノ區裁判所迄呼ビ出サレテ、其處迄行クト云フコトハ相當ナ手數アルノデアリマス、戸主ヨリモ家族ノ便益ヲ考慮スルト云フ建前カラ言ヒマス、寧ろ家族ノ住所ノ區裁判所ノ管轄ノ方ガ宜クハナイカ、是ガ順序デハアリマセスカ、普通裁判籍ハ被告ノ住所地ニ從フト云フコトガ原則アルヤウニ思ヒマスガ、斯ウ云フ心持カラ言ヒマスレバ、今申シマシタ私ノ案ガ一應考ヘラルベキコトト思ヒマスガ、如何デアリマセウカ

○政府委員(坂野千里君) 非訟事件ハ、事件本人ノ立場カラ考ヘテ離籍ノ届出ヲ致シマス、離籍ノ申立ハ、申立ノ方カラ言ヘバ戸主ガ本人デアアル、ソコデ此ノ戸主ノ住所ト云フ建前ヲ採ッテ居ルノデアリマス、訴訟關係地カラ言ヘバ、寧ろ受身ハ家族ニ在ル譯デアリマスガ、非訟事件ノ大體建前ハ事件本人ノ建前ト云フコトニナッテ居リマスノデ、其ノ關係上戸主ノ住所ト云フコトニ致シタ譯デアリマス

○村上恭一君 モウ一ツ最後ニ只數字ノコトヲ伺ヒマス、先刻「軍人又ハ軍屬ノ遺妻ノ離籍届出事件調」ト云フモノヲ戴キマシタ、實ハ此ノ遺妻ト云フコトハ初メテ私伺ヒマシタガ、是ハ未亡人、寡婦、所謂後家サンノコトノヤウデアリマスガ、昭和十五年十一月十五日現在デアリマス、此ノ日迄ノ分ト云フコトハ分リマスガ、何時カラノ分デゴザイマスガ、ソレヲチヨット伺ヒタイ

○政府委員(坂野千里君) チヨット不完全デアリマシタガ、ソレハ今度ノ支那事變勃發以後十五年十一月十五日迄ノモノデス

○村上恭一君 昭和十二年九月頃カラデスカ

○政府委員(坂野千里君) 左様デゴザイマス

○村上恭一君 戸籍法中改正法律案ニ付キマシテ御伺ヒ致シマス、是ハ大體ニ於テ便利ナコトト思ヒマスガ、先ヅ伺ヒマスガ新シク出来マス第十四條「二ハ、戸籍謄本又ハ抄本ノ記載事項ニ變更ナキコトノ證明ヲ受ケントスル者ハ手數料ヲ納付シテ之ヲ請求スルコトヲ得」是ハ戸籍ノ謄本又ハ抄本ノ新シイノデハナク、古いノデ間ニ合ハセルト云フ趣旨デゴザイマスネ、シマスト其ノ

戸籍ノ謄本若シクハ抄本ヲ必要トスル場合ニ於キマシテ、新シイノデナクテモ宜シイ、古イノニ證明ガ付ケバソレデ宜シイト云フ取扱デナケレバ何ニモナリハセス、其ノ方面ニハ何カ法令ノ改正ヲ要スルヤウナモノハナイノデスカ、唯戸籍謄本抄本ヲ必要トスル所ノ取扱ヲ得ルダケデ宜シイノデスカ、多分サウダラウト思ヒマスガ、念ノ爲チヨット伺ヒマス

○政府委員(坂野千里君) チョット御尋ノ點ガ分リ兼ねマスガ、戸籍謄本ヲ持ッテ居リマシテ、謄本ノ中ノ一部ニ變更ノナイコトノ證明ヲ求メラレルカト云フ仰セデゴザイマス

○村上泰一君 能クアリマスノハ、三箇月以内ノ作成ニ係ル分デナケレバイカストカ言ッたヤウナコトヲ決メテ居リマスガ、ソレガ其ノ儘ニナッテ居ッテハ役ニ立チマセヌ古イ戸籍ノ謄本抄本デモ、三箇月以内ノ證明ガアルノデアレバ宜イト云フコトニナラストイカヌノデアリマスカラ、ソコヲウマク行キマスヤウニ御取計ラヒニナルコトガ必要デアラウト思ヒマス、ソレカラ新シイ第十四條ノ三デアリマスガ、「戸籍ニ記載シタル事項ニ付キ證明ヲ受ケントスル者ハ手數料ヲ納付シテ之ヲ請求スルコトヲ得」、此ノ戸籍記載事項ノ證明ト云フコトハ今迄ニナイ取扱ヒデアリマス、今度初メテ御作リニナッ

タモノデアリマス、サウ致シマシテ、先刻戴キマシタ資料デアリマスガ、「戸籍謄抄本及戸籍證明交付件數調」、茲ニ戸籍簿ノ閲覧證明ト云フ欄ヲ設ケテアリマシテ、其ノ證明ノ件數ガ擧ゲテアリマスガ、是ハ如何ナモノデアリマス、今迄ハ戸籍法ニナイ取扱ヲ事實ハヤッテ居ッタト云フコトナノデア

リマス

○政府委員(坂野千里君) 御答ヘ申上ゲマス、此ノ證明ハ戸籍法第六十七條ニ「届出人ハ届出ノ受理又ハ不受理ノ證明書ヲ請求スルコトヲ得」ト云フコトガアリマス、之ヲ此ノ數字デ擧ゲテ居ルノデアリマス

○村上泰一君 ソレカラモウ一ツ、戸籍法ノ今度ノ改正ニ「謄本ハ請求ニ因リ除籍者ニ關スル記載ノ謄寫ヲ省略シテ之ヲ作ルコトヲ得」トアリマスガ、此ノ除籍者ト云フモノハドウ云フモノデアリマス

○政府委員(坂野千里君) 婚姻ニ因ッテ他家ニ參リマス、其ノ殘ツタ家ノ方デハソレガ除籍者ニナリマシテ、始末ヲシテ殘ッテ居ル譯デアリマス

○村上泰一君 家督相續ガアリマシテ戸主ガ變リマス、戸籍簿ヲ作り直スノデスネ、其ノ時現在其ノ家ニ屬スル者ハ新シイ戸籍ニ載リマスネ、其ノ後死亡トカ婚姻其ノ他ノ理由ニ因ッテ其ノ家ニ在ラザルニ至ツタ者ヲ除キマス、ソレガ除籍者デア、サウ云フ意味デアリマス

○政府委員(坂野千里君) サウデアリマスケラレテ居リマス

○村上泰一君 其ノコトハ戸籍法ニ定義付ケラレテ居リマス

○政府委員(坂野千里君) 戸籍法ニ定義ハゴザイマセヌガ、全體カラサウ云フヤウニ解釋ヲ致シテ居ル譯デアリマス

○村上泰一君 是デ分リマス

ガ、先刻政府委員カラ御説明ノ如ク、離籍ト云フコトハ身分關係ニ相當重大ナ關係ガアリマシテ、成ルベク速カニ其ノ關係ヲ確定スル必要アルコトハ、言フ迄モナイコトヲ思フノデアリマス、此ノ故ニ今度ノ改正法ニ付キマシテハ、家族ハ即時抗告ト云フコトニナッテ居リマスガ、此ノ二十條ニ依リマシテ戸主ノ方ハ即時抗告ハナイ、此ノ區別ハ、何レモ速カニ身分關係ヲ確定スルノ必要ガアルナラバ、戸主ノ場合ニ於テモ矢張り即時抗告ヲ許スベキデハナイカト思ヒマスガ、如何デアリマス

○政府委員(坂野千里君) 家族ノ方ノ即時抗告ヲ許ス場合ハ、離籍ガ行ハレタ場合デアリマス、變動ガアッタ場合デアリマス、戸主ノ方ノ申立ガ却下サレマシタ場合ハ變動ガゴザイマセヌ、其ノ儘先ヅ一應離籍セズニ、此ノ儘ノ狀態ヲ續ケテ行カウト云フ譯デゴザイマスカラ、特ニ即時抗告ト云フ言葉デシナクテモ宜イ、斯様ナ考デアリマス

○副委員長(子爵加藤泰通君) 別ニ御質問モゴザイマセヌカ……ソレデハ今日ハ此ノ程度デ散會致シタイト思ヒマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午前十一時十六分散會

出席者左ノ如シ

副委員長	子爵加藤	泰通君
委員	木村	尙達君
	村上	恭一君
	男爵近藤	滋彌君
	男爵奥田	剛郎君
	山隈	康君
	塩田	團平君

政府委員

司法次官 三宅正太郎君
司法省民事局長 坂野 千里君
司法省調查部長 中島 弘道君
司法書記官 石田 壽君

昭和十六年一月二十九日印刷

昭和十六年一月三十日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局